

# 学部学科適性試験

実施学部	総合グローバル学部
実施学科	総合グローバル学科
試験時間	75分
試験概要	グローバル化する人間社会について、提示された資料の理解力および思考力を問う試験(英語の設問を含む)

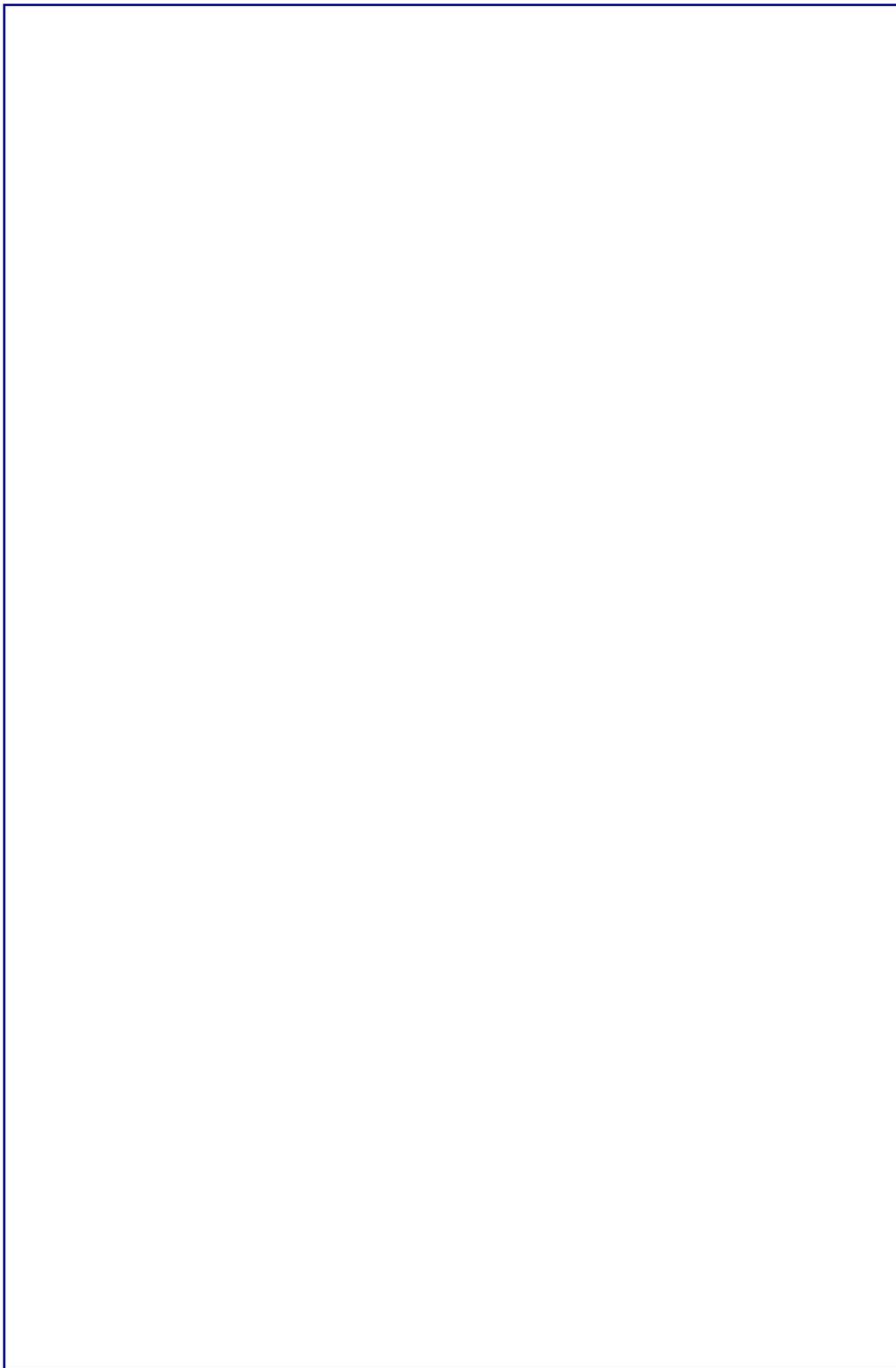
(この問題冊子は17ページ、3問である。)

## 受験についての注意

1. 試験監督者の指示があるまで、問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に、試験監督者から指示があったら、解答用紙1ページ目の左上に氏名と受験番号を記入し、所定のマーク欄をぬりつぶすこと。
3. 試験監督者から試験開始の指示があったら、この問題冊子が、上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は、HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。
5. マーク式の解答は、解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで、そのマーク欄をぬりつぶすこと。
6. マークをするとき、マーク欄からはみ出したり、白い部分を残したり、文字や番号、○や×をつけたりしてはならない。また、マーク箇所以外の部分には何も書いてはならない。
7. 記述式の解答は、各解答欄にていねいに記入すること。数字、ローマ字については、1マスに2字とする。
8. 訂正する場合は、消しゴムでていねいに消したうえで、消しきずはきれいに取り除くこと。
9. 解答用紙を折り曲げたり、破ったりしてはならない。
10. 試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
11. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
12. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1

下記の文章(Council on Foreign Relations (CFR), “No Refuge: Why the World’s Swelling Refugee Population Has Shrinking Options,” (A CFR Infoguide), 2019の一部を変更)を読み, 後の問いに答えなさい。





問1 文脈上, (1)-(8)の空欄に入る最も適切な語, または句をそれぞれ(a)-(d)から一つ選びなさい。

- |                     |                    |                |            |
|---------------------|--------------------|----------------|------------|
| (1) (a) migrants    | (b) asylum-seekers |                |            |
| (c) migrations      | (d) minorities     |                |            |
| (2) (a) limited     | (b) challenged     | (c) prohibited | (d) wanted |
| (3) (a) willingly   | (b) fortunately    |                |            |
| (c) unfortunately   | (d) forcibly       |                |            |
| (4) (a) supremacy   | (b) prerogatives   |                |            |
| (c) will            | (d) donations      |                |            |
| (5) (a) refer       | (b) target         | (c) object     | (d) lament |
| (6) (a) accept      | (b) refrain        | (c) dismiss    | (d) deter  |
| (7) (a) precarious  | (b) stable         |                |            |
| (c) comfortable     | (d) diversified    |                |            |
| (8) (a) environment | (b) tool           |                |            |
| (c) ambition        | (d) condition      |                |            |

問2 ( A )を含むセンテンスは、和訳すると「UNHCRが直面する問題を複雑にしているのは、反移民の感情が高まる中で、多くの先進的な民主主義国が後退していることである」を意味している。この訳文を参考に、以下の単語を並び替えて、空欄( A )を埋めなさい。

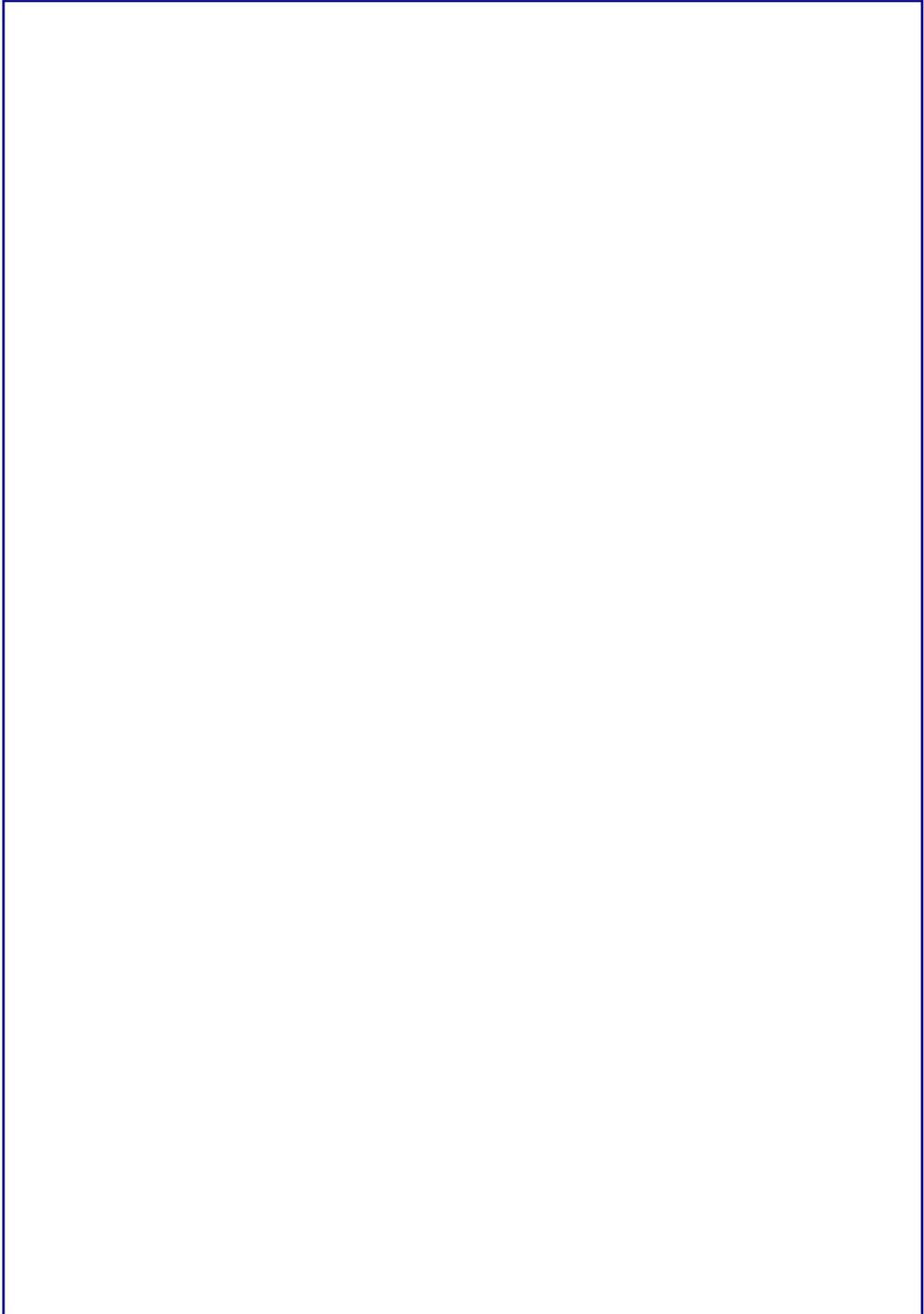
{

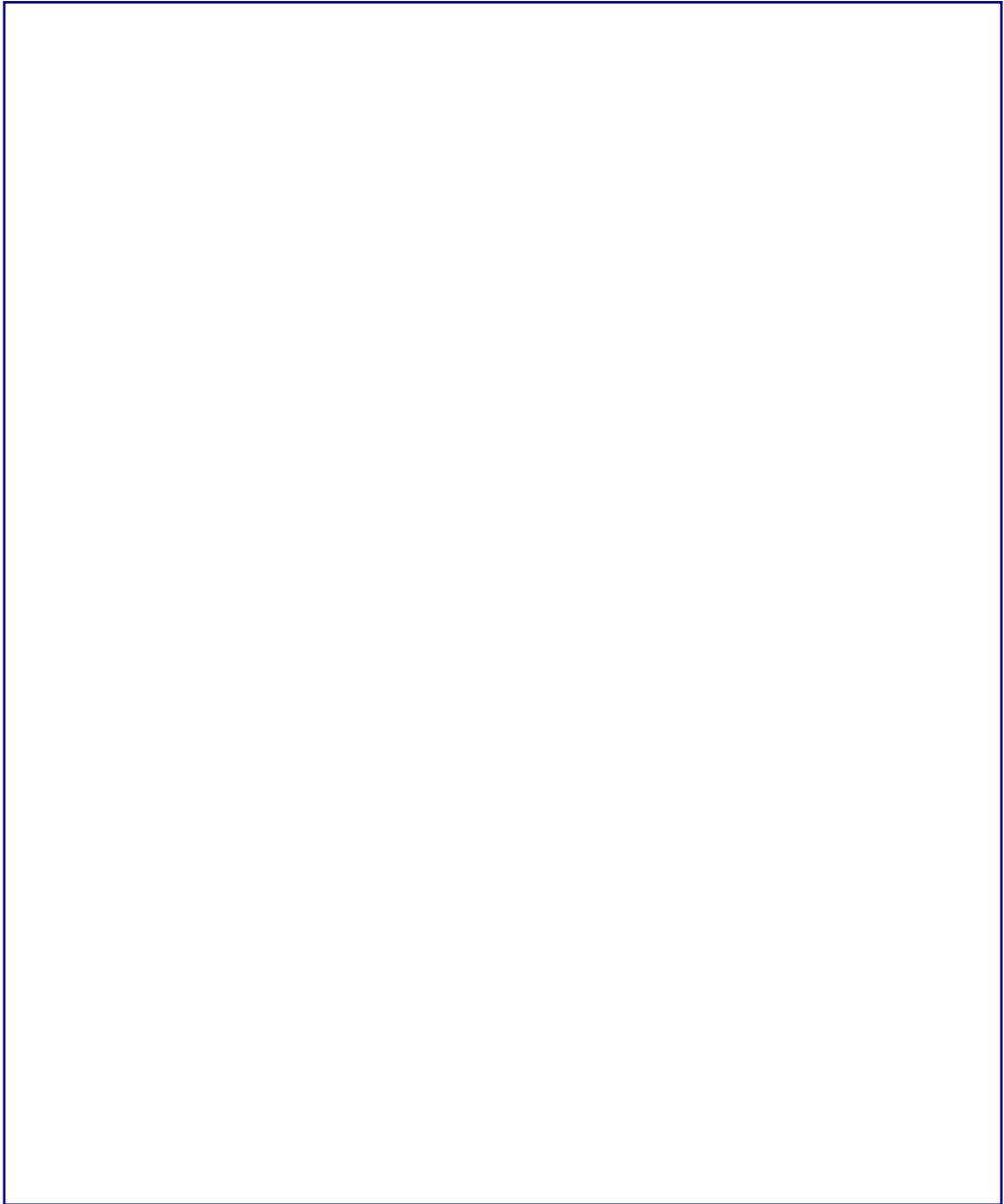
}

問3

- (1) ( B )に入る日本出身の人物の姓名を答えなさい。
- (2) 下線部は、( B )の人物が繰り返し用いた表現であり、  
と和訳することができる。この表現により( B )の人物が訴えたかった内容を本文中から読み取り和文60文字以内で述べなさい。

**2** 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。

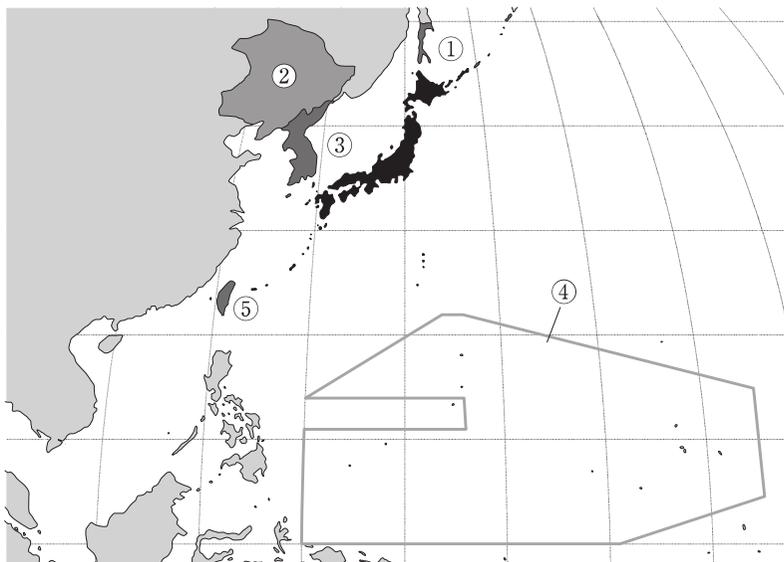




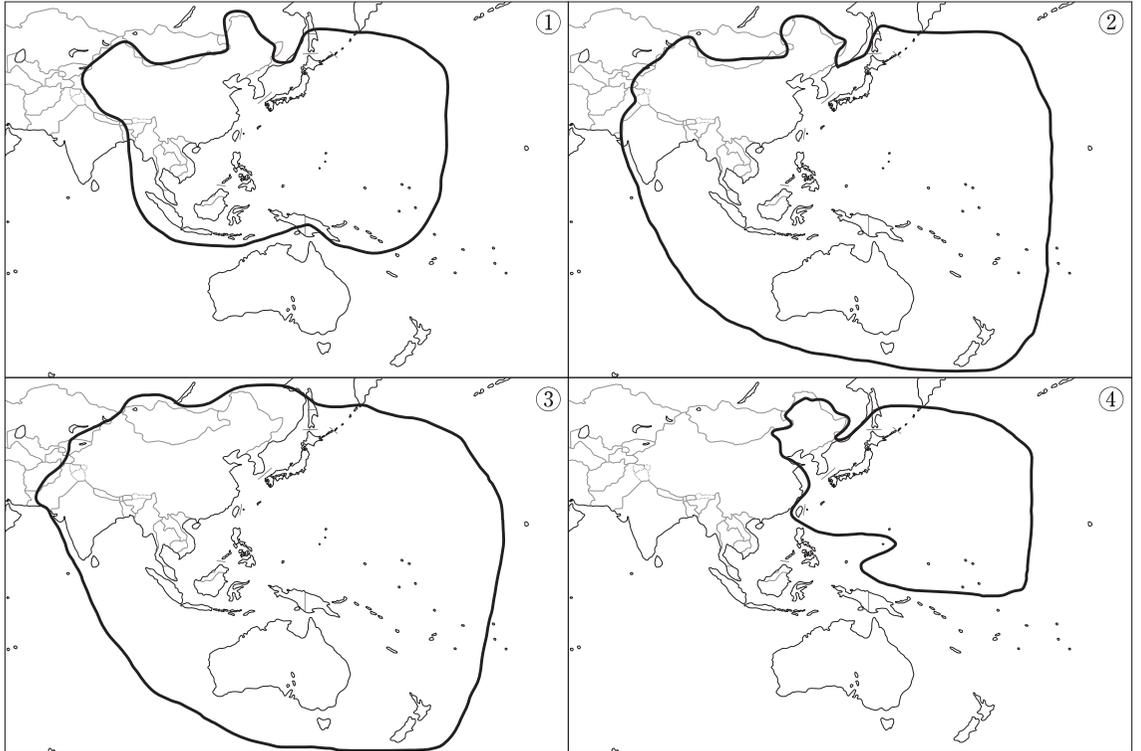
加藤聖文『「大日本帝国」崩壊：東アジアの1945年』中央公論社，2009年，230-233  
頁。

問1 下線部(1)に関して、以下のAとBの問いに答えなさい。

A. 本文の(あ)(い)(う)(え)(お)の地域名に対応する番号をそれぞれ書き入れなさい。



B. 1940年，当時の松岡洋右外務大臣によって提唱された「大東亜共栄圏」は，どの範囲までを含む構想であったのか。最も適切な番号を一つ選びなさい。



問2 ( 1 )に入る用語を漢字5文字で記しなさい。

問3 ( 2 )に入る最も適切なものを以下から一つ選びなさい。

- a. ローズベルト
- b. アイゼンハワー
- c. マッカーサー
- d. トルーマン

問4 下線部(2)と関連して、以下の記述のうち誤っているものを一つ選びなさい。  
問4については、設問に不備があったため、受験生全員を正解とした。

- a. この戦争では、戦後米占領軍によって温存された、海上保安庁所属の旧日本海軍掃海部隊、すなわち米海軍の要請で日本政府が極秘に編成した特別掃海隊が機雷除去にあたったほか、朝鮮半島での港湾業務や船員としての米軍後方支援で、多くの日本人死者がでていたことが判明している。
- b. 日本は、休戦協定の締結から約5カ月後の1954年2月19日にアメリカ合衆国(米国)、カナダ、ニュージーランド、イギリス(英国)、南アフリカ連邦、オーストラリア、フィリピンの7カ国と署名を交わし、「日本国における国際連合の軍隊の地位に関する協定(国連軍地位協定)」を結んだ。
- c. この戦争を戦った国連軍(United Nations Command: UNC)は、1950年6月25日、国際連合安全保障理事会決議によりマッカーサーを司令官とする多国籍軍として編成されたが、2024年現在も活動中であり、日本の嘉手納飛行場にはその後方司令部が置かれている。
- d. この戦争に対し、大韓民国、アメリカ、イギリスに次いで4番目に多くの派兵をしたトルコは、建国して間もない韓国の危機を救うという名分で参戦したが、その背景には国益を極大化するための冷静な現実論に基づく戦略があり、結果としてNATO加盟に成功した。

問5 下線部(3)の前後の歴史的展開を踏まえ、以下のうち正しいものを一つ選びなさい。

- a. 東京湾上の米艦「ミズーリ」で行われた「降伏文書」調印式には、日本側を代表して重光葵外相、東條英機参謀総長、連合国を代表して連合国最高司令官のマッカーサーが立ち合い署名を行った。
- b. ポツダム宣言の受諾により、大日本帝国領域内の旧植民地の一つであった朝鮮半島は日本の統治下から脱したが、その後、北緯38度以北をソ連軍に、以南を米軍にそれぞれ占領されつつ、朝鮮人は引き続き日本国籍を有した状態にあった。
- c. 玉音放送は、天皇が「帝国臣民」に向かって初めて直接語りかけたものであったが、その「帝国臣民」のなかには、「内鮮一体」「一視同人」といったスローガンのもと皇民化された台湾人、朝鮮人、その他の少数民族も含まれていた。
- d. 戦後、アメリカ軍の日本に対する間接統治は、1952年4月28日のサンフランシスコ講和条約の発効によって終了するが、沖縄県を含む南西諸島および小笠原諸島に関しては、後者が1968年、前者が1972年まで続いた。

問6 ( 3 )に入る最も相応しいものを以下から一つ選びなさい。

- a.
- b.
- c.
- d.

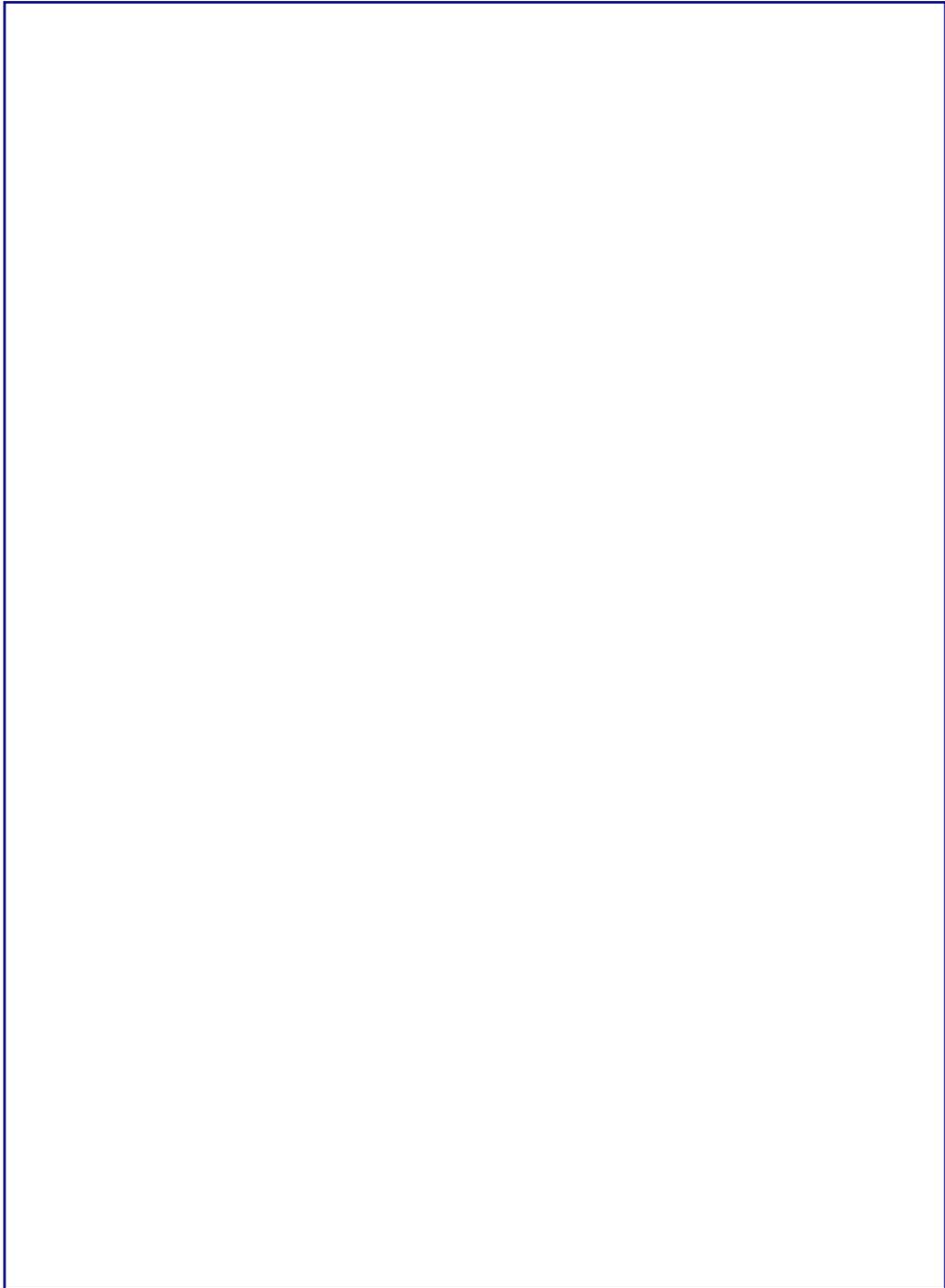
問7 下線部(4)と(5)の比較を踏まえ、A. 1946年4月に行われた衆議院選挙において、史上初めて行使された基本的人権は何か。漢字5文字で記しなさい。また、B. 同選挙をめぐり、下線部(4)では認められていたものの、(5)では異なった状況となった問題について、50字以内で説明しなさい。

問7 Bについては、設問に不備があったため、受験生全員を正解とした。

問8 本文の主旨と関連して、著者の認識や主張と重ならないものを一つ選びなさい。



**3** 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。



O. A. ウェスタッド(益田実監訳, 山本健／小川浩之訳)『冷戦：ワールド・ヒストリー』(下)岩波書店, 2020年, 428-430頁。

問1 下線部(1)に関連して、この時期に生じた世界の政治経済に関する出来事について誤っているものを一つ選びなさい。

- a. 工業製品や農産品を含む広い分野において日米貿易摩擦が発生した結果、アメリカは日本製品に対する追加関税を課し、日本は対抗措置として同規模の報復関税を発動した。
- b. 発展途上国と呼ばれていた国(地域)の一部が、輸出志向型の工業化を進めることで急速な経済発展を遂げ、NIESと呼ばれるようになった。アジアではシンガポール、香港、台湾、韓国が含まれる。
- c. 資源ナショナリズムの高まりを背景として、第4次中東戦争の際にはOPECが原油価格の引き上げを実施し、世界経済に大きな影響を与えた。
- d. 途上国への開発援助や投資が積極的に行われる一方、返済能力を超えて借入残高が積み重なる累積債務問題に注目が集まるようになった。

問2 下線部(2)に関連して、アメリカが2003年にイラクへの武力介入を実施した際の日本の反応に関する記述として誤っているものを一つ選びなさい。

- a. イラクの非戦闘地域において、人道復興支援活動および安全確保支援活動を行うことを目的として、時限立法としてイラク復興支援特別措置法が成立した。
- b. 自衛隊のイラク派遣を違憲とし、その差し止めを求めた集団訴訟が市民によって提起された。
- c. 自衛隊が発足以来はじめて海外派遣され、ペルシャ湾に敷設された機雷の除去などの任務に従事した。
- d. 小泉純一郎政権はイラク戦争への対応として自衛隊のイラク南部派遣と15億ドルの無償資金援助を決定した。

問3 下線部(3)に関連して、2000年代にアメリカにおいて( )層からの石油採掘技術が発達したことで、2017年ごろからアメリカは石油製品の輸出を拡大させていった。空欄に当てはまる言葉をカタカナで書きなさい。

問 4 下線部(4)の 2 か国について、誤っているものを一つ選びなさい。

- a. 1954年、中国の周恩来とインドのネルーとの間で、領土保全および主権の尊重、相互不可侵、内政不干涉、互惠平等、平和共存からなる平和五原則が確認された。
- b. 中印国境紛争によって両国間の関係は悪化し、非同盟諸国の連帯が後退する一因にもなった。
- c. インドは1974年に最初の核実験を実施したことでNPTには未加盟だったが、2007年に米印原子力協力協定が締結されたことを機に加盟国となった。
- d. 中国は鄧小平の改革開放路線のもとで市場経済への転換を進めたが、1989年の天安門事件では民主化運動を弾圧したことで西側諸国との関係を悪化させた。

問 5 下線部(5)に関連して、京都メカニズムの 1 つとして導入された排出量取引とはどのような仕組みか、50字以内で説明しなさい。

問 6 下線部(6)に関連して、ソ連の特徴について誤っているものを一つ選びなさい。

- a. 計画経済を実施し、豊富な地下資源を開発しながら工業生産を進めるとともに、コルホーズ・ソフホーズに基づく大規模な農業を展開した。
- b. 社会主義経済を建設するため、1949年にはソ連、ポーランド、ハンガリーなど 6 か国からなる経済相互援助会議を設立し、東側諸国による経済ブロックを形成した。
- c. 計画経済を実施するにあたって必要な権力の集中を目的として、強固な大統領制に基づく統治を実施した。
- d. ソ連の政治指導層は必ずしも一枚岩ではなく、スターリンは対立者を次々に粛清した一方、死後にこのような政治手法に対する批判も展開された。

問7 1979年にソ連が武力介入した( 7 )という国には、冷戦後にアメリカも介入を実施した。該当する国を選び、解答用紙の白地図を塗りつぶしなさい。

問8 下線部(8)のうち、2024年7月現在、北大西洋条約機構(NATO)に加盟している国を一つ選びなさい。

- a. ジョージア
- b. ウクライナ
- c. リトアニア
- d. ベラルーシ

問9 下線部(9)の事例として誤っているものを一つ選びなさい。

- a. エチオピアは1960年にイギリスから独立したものの、その後エリトリアの独立に伴って国境紛争に直面した。
- b. 1957年、ガーナはイギリス連邦内で最初の黒人国家として独立し、1960年には共和国となった。
- c. 1960年にフランスから独立したニジェールは、金や石油などの資源を産出するほか、ウランの重要な供給国となっている。
- d. ジブチは1960年代に一度フランス植民地として残ることを選択したが、1977年に改めて住民投票を実施し、共和国として独立した。

